

官民連携(PPP)プロジェクトによるまちづくりを進めるパートナー企業として

戸田建設株式会社(本社:東京)を選定しました



越前たけふ駅から当地区を望むイメージパース

越前市は、2024年(令和6年)春に開業予定の北陸新幹線「越前たけふ駅」周辺における、官民連携(PPP)プロジェクトによるまちづくりを行うためのパートナー企業(民間開発事業者)を公募し、戸田建設株式会社(本社:東京)を選定しました。

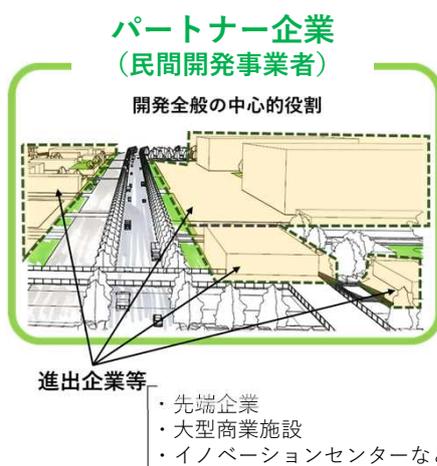
プロジェクトの経緯

- 令和元年度 南越駅周辺まちづくり計画 策定
(フォレストシティ&越前市版スマートシティをコンセプトに設定)
- 令和2年度 新幹線駅周辺まちづくりガイドライン 策定
(新幹線駅周辺の開発ルール等を設定)
- 越前市オープンイノベーション推進ビジョン 策定
(環境・エネルギー領域など成長分野の産業集積を目指す)
- 令和3年度 サウンディング型市場調査 → 関心示す企業を確認
パートナー企業(民間開発事業者) 公募・選定

パートナー企業の役割

パートナー企業は、開発全般の中心的な役割を担います。

まとまった区域での一体開発のノウハウのほか、スマートシティを実現するための先端テクノロジーをまちづくりに活用するノウハウやネットワークを提供します。



官民連携(PPP)プロジェクトによるまちづくり

PPPとは**Public Private Partnership**
(パブリック・プライベート・パートナーシップ)の略称です。

公共と民間が連携して、互いの強みを生かすことで、地域の価値や住民満足度の最大化を図ろうとするものです。



協力してまちづくりを進める
(事業の推進)

戸田建設株式会社(パートナー企業)について

1881年(明治14年)創業の大手ゼネコン・ディベロッパー。

数多くの建物やインフラの構築に加え、農業6次産業化や官民連携など、土地活用から投資開発まで総合的な支援を行っています。

国内で浮体式洋上風力発電に早くから取り組み、国内初の商用運転を開始したほか、太陽光発電所等の建設工事を数多く手がけるなど、再生可能エネルギー分野にも積極的に取り組んでいます。

企業情報は下記から
ご覧いただけます

戸田建設(株)HP
<https://www.toda.co.jp>



今後の進め方

8月中旬 基本協定書締結(市・パートナー企業・地元団体) → ご意見を確認しながら事業実施計画書を作成

8月中旬に市・パートナー企業・地元団体による基本協定書を締結する予定です。

また協定締結後、市とパートナー企業は、地元の皆さん、地権者の皆さんをはじめ、市民の皆さんや関係団体、進出企業などのご意見を確認しながら、具体的な事業の進め方を示す事業実施計画書を作成していきます。

→裏面に提案の概要を
抜粋して記載しています

問合せ

産業政策課
官民連携プロジェクト推進室
TEL 22-3047

提案の概要

パートナー企業に選定された戸田建設株式会社からの提案の一部をご紹介します。
この提案内容をもとに、皆さんからのご意見を確認しながら、具体的な事業の進め方を示す事業実施計画書を作成していきます。

まちづくりコンセプト

Echizen-Takefu Innovation Valley

(越前たけふイノベーションバレー)

越前市の歴史や伝統、豊かな自然環境や文化を活かし、様々なイノベーションを生み出す機能や仕組みにより一人ひとりが快適に働き、暮らし続けられる、社会の変化に対応できる持続可能なまち

街区イメージ



導入機能のイメージ

成長領域を担う産業やスマートな暮らしを実現する機能を集積

主な機能(施設)の例

生産施設、研究開発施設

製造企業のグローバル生産・供給体制を牽引する重要な国内拠点としてのマザー工場やR&Dセンター

【施設イメージ】



商業施設

市民に開かれた公共的空間、市民生活を支える生活インフラとしての大型商業施設

【施設イメージ】



オープンイノベーションセンター

産学官金と市民が参加するプラットフォーム事業の中核施設

【施設イメージ】



様々な機能(施設)のハブとして成長領域の産業育成や市民・来街者のQoL向上を担う

スマートシティをつくる技術基盤

近年の社会背景等を踏まえ、先端企業が求める基盤整備により、産業のイノベーションを支える

脱炭素 … RE100
データ利活用 … 5G/6G
アクセスの利便性 … MaaS



実証実験
～実装の場

事業推進のイメージ

進出企業の早期進出ニーズに対応し、スピーディーな事業化に向け検討を推進

市とパートナー企業がアプローチしていく第一期の進出企業候補

研究施設等
生産施設

APB株式会社

(次世代リチウムイオン電池「全樹脂電池」)

数十ギガワット級の工場建設に
1千億円を投資
➔ 市内での新工場建設を具体的に検討

官民連携(PPP)プロジェクトによる
まちづくりの中で新工場立地を先行して推進
※県が全面支援

商業施設

大型商業施設の誘致

(規模や店舗構成など整備内容については進出企業候補と協議中)

交流施設

福井ユナイテッドFC

(サッカーJリーグ参入を目指す福井県を代表するチーム)

➔ サッカー練習場・クラブハウスの立地を検討
(グラウンドの規模など整備内容については協議中)